

内科実習概略(案)

主な目的

指導要項

1. オリエンテーション

- 1. 病室の総合的状況を見る。
- 2. 基礎看護技術の応用
- 3. 患者の観察

a. 内科病室へのオリエンテーション

- 1. 病室の配置と各室の使用目的
- 2. 関係記録用紙の説明
- 3. 入院・退院・転入・転出に用いる事項。
- 4. 検査物の集め方と呈出法
- 5. 日課及び週間予定等につき説明。
- 6. 中央材料室、外来各科との関係

b. 調理室へのオリエンテーション

- c. 内科病室で多く使われる投薬、処置の紹介。

Case Method

軽症患者の受持
卒業生と共に受け持ち引継ぎを
うけると共に報告をすること。

この方法により患者一人を対稱として看護をすることが出来、後にCase Studyをする場合にこの経験は役立つ。

Functional Method

体温、脈膊、呼吸測定及び
投薬、処置を多くの患者を
対稱として行うことにより、この
技術を習得すると共に病棟
全般の看護のあり方を見る。

外来の経験

外来にあることにより如何に患
者が社会より病院へ来るか —
患者を社会人として見る。
入院に際して病院、医者側の
受け入れ方を見る。

特別調理室見学

受持患者の治療、看護上、
食餌の問題がある場合、
栄養士に会い又調理室に
ついて食餌が如何にして
くめられて又調理される
かを見る。

医長回診見学

内科疾患の多くの症例を見る
事により観察力が養われ、又
看護の上になれがどの様な問
題をあげかけるか患者一人を対
稱とすると同時に病棟全般の
問題として見る事が出来る。

II 内科疾患の看護

循環系疾患

血液病の看護

1. 心臓病患者の看護

(例)

- 安楽な位置
- 心臓病に使われる薬品
- デキタリスの副作用及応
- 水代謝
- 褥瘡予防
- 食餌
- 保健指導
- 酸素療法
- 症状を緩和する特殊の処置
- リウマチ性心臓病
- 患者の作業療法

2. 急性肺浮腫

3. リウマチス

4. 貧血

5. 血友病

6. 卒中

呼吸器系疾患の看護

肺炎 結核

気管支拡張症

喘息 気管支炎

感冒 インフルエンザ

消化器系疾患の看護

胃潰瘍 胃癌

胆嚢炎 肝硬変

條虫 便秘

慢性潰瘍性腸炎

泌尿器系疾患の看護

腎臓病

悪性高血圧

内分泌腺及び特殊代謝の

症状に対する看護

甲状腺肥大症

糖尿病

その他の症状

アジソン氏病

ホチキン等

筋肉・骨格系疾患の看護

関節炎 及び リウマチス

外来及びレントゲン科の見学

内科疾患と関係ある治療・検査をみる。

学生各自に患者を担当させることにより、各疾患の看護の経験を積む。

Case Studyの発表をさせ、総合看護のあり方を認識する。

Ward Conferenceの形式により看護上の問題をとりあげ、討議する。